



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東
 コード番号 4171 URL https://corporate.gii.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 荘祐
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	1,991	△1.6	282	△15.9	281	△17.2	192	△16.8
2024年12月期第3四半期	2,023	△4.6	336	△13.8	340	△21.9	231	△17.7

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 192百万円(△16.7%) 2024年12月期第3四半期 231百万円(△17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	64.96	64.84
2024年12月期第3四半期	78.34	78.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,119	2,481	79.5
2024年12月期	3,164	2,469	78.0

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 2,480百万円 2024年12月期 2,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	26.00	—	34.00	60.00
2025年12月期	—	30.00	—		
2025年12月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,752	0.1	380	△13.2	381	△18.1	262	△16.8	88.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年12月期 3 Q	2,969,000株	2024年12月期	2,962,200株
2025年12月期 3 Q	681株	2024年12月期	681株
2025年12月期 3 Q	2,964,943株	2024年12月期 3 Q	2,954,426株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日～2025年9月30日)における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化等、地政学リスクが依然として燻る状況にあり、加えて米国の通商政策の変更による影響等から、景気の先行き不透明感が高まっております。日本国内においては、景気が緩やかに回復しつつある一方、物価の上昇や為替変動等が国内経済に与える影響も懸念され、依然として注視が必要な状況となっております。

そうした中、当社グループが属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社グループは幅広い顧客ニーズに対応するため、商品ラインナップの拡大に努めており、AIプラットフォーム型コンテンツの販売にも注力しております。この他、定期的に調査会社との共催セミナーを開催し、関心の高いテーマに関する情報発信に注力しております。販売面では、各種AIツールの提供や購買後のアフターフォロー強化等により、顧客満足度の向上に努めました。顧客の要望に応じたレポートのカスタマイズや委託調査へのアップセルを積極的に提案する取組みを通じて、より付加価値の高い情報サービス需要を開拓しております。同時に、各種WEBマーケティング施策や広告媒体への出稿を行い、GIIブランドの認知度向上による顧客基盤の拡大を図っております。また、国際会議・展示会事業においては、実地開催を中心に徐々に取扱いを増やしております。

株式会社ギブテックにおいては、ZETA通信をはじめLPWA通信に関する製品の開発・販売に努めております。また、非接触型展示会DXシステム「AiMeet(アイミート)」の販売にも取り組んでおり、「国際物流総合展2025」等複数の展示会イベントに導入されております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,991,937千円(前年同期比1.6%減)、営業利益は282,660千円(前年同期比15.9%減)、経常利益は281,923千円(前年同期比17.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は192,613千円(前年同期比16.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

(a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、顧客ニーズの多様化に対応するため、新たな仕入先調査会社の開拓や商品ラインナップの拡大に努めてまいりました。本社部門においては、引き続き市場調査レポートの受注が伸び悩んでおり、売上高は前年同期を下回りました。海外部門においては、韓国支店が低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比8.5%減の1,568,191千円となりました。

(b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門においては、年間情報サービスの受注は前年と同水準で推移しており、売上高は前年同期をわずかに下回りました。海外部門においては、韓国支店がやや低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比1.9%減の133,590千円となりました。

(c) 委託調査事業

委託調査事業は、本社部門においては、委託調査案件数・受注単価ともに伸長しており、売上高は前年同期を大きく上回りました。海外部門においては、やや低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比91.9%増の228,460千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、欧米開催の国際会議・展示会を中心に好調に推移しており、本社部門、海外部門合計の売上高は前年同期を上回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比22.1%増の21,482千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は前年同期比1.8%減の1,951,725千円となり、セグメント利益（営業利益）は282,444千円となりました。

（その他事業）

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の販売、受託開発等を主な事業としております。また、非接触型情報受け渡しツール「AiMeet」の拡販にも取り組んでおり、新たに「AiMeet」を導入する展示会も順調に増加しております。売上高は前年同期比8.8%増の40,211千円となり、セグメント損失（営業損失）は773千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、45,650千円減少の3,119,095千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、49,039千円減少の3,018,036千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の7,677千円減少、売掛金の21,157千円減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、3,389千円増加の101,058千円となりました。この主な要因は、繰延税金資産の5,424千円増加等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、57,223千円減少の638,068千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、70,721千円減少の319,372千円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の55,844千円減少、未払金の11,113千円減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、13,498千円増加の318,696千円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の11,295千円増加等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、11,573千円増加の2,481,026千円となりました。この主な要因は、資本金の4,355千円増加、資本剰余金の4,355千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は79.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月10日公表の予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2025年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,669,654	2,661,977
受取手形	2,492	650
売掛金	254,857	233,699
商品及び製品	11,624	9,618
原材料及び貯蔵品	8,421	5,897
前渡金	101,780	82,157
その他	18,244	24,035
流動資産合計	3,067,076	3,018,036
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,113	24,414
車両運搬具(純額)	4,658	3,494
工具、器具及び備品(純額)	5,428	4,582
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	48,139	45,432
無形固定資産		
商標権	109	91
ソフトウェア	671	1,458
その他	465	465
無形固定資産合計	1,246	2,015
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,281	21,706
その他	32,001	31,904
投資その他の資産合計	48,283	53,610
固定資産合計	97,668	101,058
資産合計	3,164,745	3,119,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,341	59,496
未払金	34,542	23,428
未払法人税等	59,665	23,469
未払消費税等	21,077	40,922
前受金	121,641	132,271
賞与引当金	5,381	19,630
その他	32,443	20,153
流動負債合計	390,094	319,372
固定負債		
退職給付に係る負債	18,843	21,046
役員退職慰労引当金	286,355	297,650
固定負債合計	305,198	318,696
負債合計	695,292	638,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	171,565	175,920
資本剰余金	150,573	154,929
利益剰余金	2,147,203	2,150,075
自己株式	△145	△145
株主資本合計	2,469,196	2,480,780
非支配株主持分	256	246
純資産合計	2,469,453	2,481,026
負債純資産合計	3,164,745	3,119,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,023,473	1,991,937
売上原価	1,057,887	1,033,647
売上総利益	965,585	958,289
販売費及び一般管理費	629,356	675,628
営業利益	336,229	282,660
営業外収益		
受取利息	437	3,199
為替差益	3,792	-
債務勘定整理益	289	-
その他	272	1,113
営業外収益合計	4,791	4,313
営業外費用		
為替差損	-	5,051
譲渡制限付株式関連費用	387	-
営業外費用合計	387	5,051
経常利益	340,633	281,923
特別損失		
その他	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	340,633	281,923
法人税、住民税及び事業税	112,549	94,743
法人税等調整額	△3,262	△5,424
法人税等合計	109,287	89,319
四半期純利益	231,345	192,604
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△113	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,459	192,613

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	231,345	192,604
四半期包括利益	231,345	192,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231,459	192,613
非支配株主に係る四半期包括利益	△113	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,713,670	—	1,713,670	—	1,713,670
年間情報サービス	136,155	—	136,155	—	136,155
委託調査	119,076	—	119,076	—	119,076
国際会議・展示会	17,599	—	17,599	—	17,599
その他	—	36,971	36,971	—	36,971
顧客との契約から生じる 収益	1,986,501	36,971	2,023,473	—	2,023,473
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,986,501	36,971	2,023,473	—	2,023,473
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,986,501	36,971	2,023,473	—	2,023,473
セグメント利益又は損失 (△)	345,379	△10,140	335,239	990	336,229

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去990千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,568,191	—	1,568,191	—	1,568,191
年間情報サービス	133,590	—	133,590	—	133,590
委託調査	228,460	—	228,460	—	228,460
国際会議・展示会	21,482	—	21,482	—	21,482
その他	—	40,211	40,211	—	40,211
顧客との契約から生じる 収益	1,951,725	40,211	1,991,937	—	1,991,937
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,951,725	40,211	1,991,937	—	1,991,937
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,951,725	40,211	1,991,937	—	1,991,937
セグメント利益又は損失 (△)	282,444	△773	281,670	990	282,660

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去990千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,901千円	3,980千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。